

2020年3月6日

厚生労働大臣 加藤 勝信 殿

公益社団法人全日本病院協会

会長 猪口 雄



要 望 書

(新型コロナウイルス感染症流行下における病院の診療機能維持について)

今般の新型コロナウイルス感染症流行に際し、私ども全日本病院協会では、政府の基本方針に基づき、可能な限りの対応を行っているところでございます。しかしながら、先般の小中学校等の臨時休業による職員の出勤困難、感染患者の診療対応に伴う医療従事者の休職、マスクをはじめとする感染防護用品の不足、感染リスクを避けるため外出を控えたことによる外来患者減など様々な影響が出てきております。

つきましては、病院が適切な診療機能を維持するために、下記を緊急要望いたします。

記

1. サージカルマスク、除菌消毒用品の医療機関への安定供給

サージカルマスク、消毒用アルコール・消毒綿・除菌シート等の除菌消毒用品については、使用量が大幅に増加し、全ての病院で不足が生じております。そのため地域医療を提供する一般医療機関の現場で治療に支障をきたしており、早急な対応をお願いいたします。

2. 感染防護用品の感染症指定医療機関及び救急医療機関への優先供給

感染症指定医療機関のみならず、それ以外の救急病院においても新型コロナウイルス感染症と同等の感染防御を行わなくてはならない患者を受け入れています。これら全ての医療機関に対して、N95・DS2マスク、フェイスシールド、ゴーグル、長袖ディスプレイブルガウン、除菌消毒用品、防護服等の感染防護用品の優先供給をお願いいたします。

3. 新型コロナウイルス感染症による病院経営への影響に対する財政支援

学校等の臨時休業による職員の出勤困難、感染患者の診療対応に伴う医療従事者の休職、さらに、同感染症疑い患者の外来・入院診療を行った場合には多くの職員の対応が必要となり、病院は体制確保のための費用が増しております。

その上、感染リスクを恐れた患者の受診抑制、風評被害等による外来患者・入院患者の減少が発生しております。

これらによる病院の経営状況の悪化は必須であり、地域医療を担う病院運営に支障が出ないよう必要な財政支援をお願いいたします。

以上